

## 平成28年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月12日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社タイセイ

コード番号 3359 URL <http://www.taisei-wellnet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 成一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 野村 弘

TEL 0972-85-0117

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年9月期第1四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第1四半期	1,501	18.3	124	23.5	129	22.2	93	89.1
27年9月期第1四半期	1,269	△7.9	100	△8.4	105	△3.7	49	△27.0

(注) 包括利益 28年9月期第1四半期 93百万円 (89.1%) 27年9月期第1四半期 49百万円 (△27.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第1四半期	25.98	25.82
27年9月期第1四半期	13.67	13.58

(注) 1株当たり四半期純利益および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算出にあたり、期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託制度の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している当社株式が含まれております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年9月期第1四半期	3,851	1,916	49.4	528.08
27年9月期	3,871	1,862	47.8	513.43

(参考) 自己資本 28年9月期第1四半期 1,902百万円 27年9月期 1,849百万円

(注) 1株当たり純資産の算出にあたり、期末自己株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託制度の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している当社株式が含まれております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年9月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年9月期	—	—	—	—	—
28年9月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	4,986	11.1	200	42.4	230	29.5	125	△47.1
								34.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 1株当たり当期純利益の算出にあたり、期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託制度の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している当社株式が含まれております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年9月期1Q	3,661,171 株	27年9月期	3,661,171 株
② 期末自己株式数	28年9月期1Q	58,200 株	27年9月期	58,200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年9月期1Q	3,602,971 株	27年9月期1Q	3,622,971 株

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託制度の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している当社株式が含まれております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますので、この数字に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えてください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
4. 補足情報 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済政策および日本銀行の金融政策により、緩やかな回復基調が続きましたが、円安による輸入原材料の価格上昇ならびに海外経済の減速感などから、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主要事業である菓子・弁当関連の包装資材および食材等の販売事業の業界におきましては、小麦粉などの穀物価格の上昇、ならびに、円安による日用品の値上げに伴う消費者の節約志向の高まりによって厳しい状況が続いております。

このような外部環境のもと、当社は、平成27年9月に稼動を開始した第4商品センターにより、新商品の拡充および大量購入による仕入コストの削減を推進し、出荷作業効率の向上を図りました。また、当社インターネット通販サイト「c o t t a (コッタ)」におきましては、株式会社TUKURU (連結子会社) と連携し、コンテンツの充実および顧客の購買動向に応じたタイムリーな販促活動などを行いました。さらに、周陽商事株式会社 (連結子会社) との間で情報交換を密に行い、有益な情報を双方の販促活動および新商品開発などに積極的に活用いたしました。

株式会社プティパ (連結子会社) おきましては、生産効率の改善を行うことで、利益率の向上に努めました。

以上の結果、売上高1,501,540千円 (前年同四半期比18.3%増)、営業利益124,047千円 (同23.5%増)、経常利益129,118千円 (同22.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益93,618千円 (同89.1%増) となりました。

なお、当社グループは、菓子・弁当関連の包装資材および食材等の販売事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、3,851,591千円となり、前連結会計年度末に比べ19,717千円減少しました。これは、主にクリスマス・バレンタイン向け売上の増加に伴う売掛金が増加した一方で、借入金の調達を抑えたことに伴い、現金及び預金が減少したことによるものであります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、1,935,184千円となり、前連結会計年度末と比べ73,926千円減少しました。これは、主に法人税等の納税による未払法人税等の減少ならびに借入金の返済による長期借入金の減少によるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、1,916,407千円となり、前連結会計年度末と比べ54,209千円増加しました。これは、主に四半期純利益の計上により、利益剰余金が増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年11月13日に発表いたしました通期連結業績予想についての変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。 ) および「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(3)、連結会計基準第44-5項(3)および事業分離等会計基準第57-4項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、過去の期間のすべてに新たな会計方針を遡及適用した場合の当第1四半期連結会計期間の期首時点の累積的影響額を資本剰余金および利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首において、のれんが22,522千円減少するとともに、利益剰余金が22,522千円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ292千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,205,402	943,089
受取手形及び売掛金	177,064	426,843
たな卸資産	713,958	711,068
その他	150,253	144,279
貸倒引当金	△6,727	△6,987
流動資産合計	2,239,950	2,218,293
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	906,489	934,886
土地	392,852	392,852
その他(純額)	170,308	162,556
有形固定資産合計	1,469,650	1,490,295
無形固定資産	104,579	84,288
投資その他の資産	57,127	58,714
固定資産合計	1,631,357	1,633,297
資産合計	3,871,308	3,851,591
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	371,819	357,099
短期借入金	70,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	153,434	153,116
未払法人税等	58,614	37,893
賞与引当金	24,091	4,888
ポイント引当金	13,461	11,840
その他	164,497	191,103
流動負債合計	855,917	825,941
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	917,032	878,932
株式給付引当金	1,201	1,201
その他	134,960	129,109
固定負債合計	1,153,193	1,109,242
負債合計	2,009,110	1,935,184
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	640,597	640,597
資本剰余金	613,765	613,765
利益剰余金	624,520	677,311
自己株式	△29,020	△29,020
株主資本合計	1,849,863	1,902,653
新株予約権	12,334	13,753
純資産合計	1,862,197	1,916,407
負債純資産合計	3,871,308	3,851,591

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)
売上高	1,269,334	1,501,540
売上原価	817,433	993,861
売上総利益	451,900	507,678
販売費及び一般管理費	351,457	383,631
営業利益	100,443	124,047
営業外収益		
受取利息	10	7
補助金収入	3,450	3,120
協賛金収入	4,817	4,017
電力販売収益	1,168	1,160
その他	439	1,037
営業外収益合計	9,886	9,342
営業外費用		
支払利息	2,890	2,740
電力販売費用	1,615	1,427
その他	166	103
営業外費用合計	4,672	4,271
経常利益	105,657	129,118
特別利益		
新株予約権戻入益	150	—
特別利益合計	150	—
特別損失		
固定資産除却損	20,845	—
減損損失	3,997	—
その他	695	—
特別損失合計	25,537	—
税金等調整前四半期純利益	80,270	129,118
法人税、住民税及び事業税	28,031	35,309
法人税等調整額	2,728	189
法人税等合計	30,760	35,499
四半期純利益	49,509	93,618
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	49,509	93,618

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	49,509	93,618
四半期包括利益	49,509	93,618
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49,509	93,618
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)

当社グループは、菓子・弁当関連の包装資材および食材等の販売事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)

当社グループは、菓子・弁当関連の包装資材および食材等の販売事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

4. 補足情報

(販売の状況)

当社グループは、菓子・弁当関連の包装資材および食材等の販売事業を主要な事業としており、その他の事業セグメントの重要性が乏しいことにより、セグメント情報の開示を省略しているため、以下の販売実績については、取扱商品区分別により記載しております。

当第1四半期連結累計期間の販売実績を取扱商品別に示すと、次のとおりであります。

取扱商品別	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	前年同期比(%)
鮮度保持剤(千円)	84,904	108.3
菓子関連の包装資材等(千円)	566,147	103.1
弁当関連の資材等(容器等)(千円)	58,954	91.3
菓子関連の食材等(千円)	753,783	139.3
その他(千円)	37,750	105.6
合計(千円)	1,501,540	118.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。